

人間学塾・中之島

— 第14期 塾生募集案内 —

- 塾 是
- 森 信三先生を始めとした先哲に学ぶ。
 - 日常生活の細事を軽んぜず、徳行に努める。
 - 心願以て万事の源と為し、世界の手本となる人間塾を創る。



当塾の前身は「天分塾」にあり、森信三先生の高弟、寺田一清先生のご指導のもとに新たに開塾した。源流は、江戸期大坂にて幾多の人材を輩出した「適塾」「懷徳堂」「心学講舎」などにもある。

三大綱領

- ◇ 念々志学
— 生涯学習を
目指しましょう
- ◇ 念々心願
— 一歩貢献を
念じましょう
- ◇ 念々感謝
— 師恩友益に
目覚めましょう

三つの誓い

- | | | | | |
|-------|-------|--------|---------|------|
| 一つでいい | 一つがいい | 小さな一つを | やりつづけよう | [行持] |
| 一つでいい | 一つがいい | 小さな一つの | 願いをもとう | [心願] |
| 一つでいい | 一つがいい | 小さな一つの | 実を結ぼう | [結実] |

ああ 中之島

作詞 寺田一清
作曲 小川けい子

- | | | |
|-----|--------|---------------------|
| (一) | 名も高き | 水の都の |
| | なにわの地 | ふかき伝統 |
| | うけつぎし | 人間学塾 |
| | この地この時 | ああ中之島 |
| (二) | 願いこめ | この日の本 ^{もと} |
| | 再生を | 心に秘めて |
| | 努めんや | 心願達成 |
| | 共に手をとり | ああ中之島 |
| (三) | 天仰ぎ | 地にひれ伏して |
| | 願わくば | 師恩の光り |
| | しみじみと | 念々感謝 |
| | この学び舎に | ああ中之島 |
| | この学び舎に | ああ中之島 |

代 表 中川 千都子
副代表 古田 修平
副代表 松本 学
世話人 加藤 昌夫
近藤 宏枝
西村 俊幸

福本 浩之
柴原 啓司
嶋田 泉
石黒 尚
清水 正博
細川 三郎

顧問

<http://www.nnakanosima.org>

人間学塾・中之島



第14期 開講日程 & 講師紹介

2025年
9月13日 

入塾式 / 入塾宣言・歓迎の宴

10月11日 

【講師】浅井 周英（「実践人の家」参与）
【テーマ】道縁に導かれて



昭和11年和歌山市生まれ。35年和歌山大学卒業後、小・中学校の教員を勤める。小学生の対応に苦慮していた時に、森信三先生の『理想の小学教師像』の本に出会った。自分が学級経営に悩んでいた事に対し微に入り細にわたって教えてくださる内容に感動。翌日から校庭のゴミ拾いや毎日ガリ版刷りの学級だよりを発行し、日替わりでクラスの児童を褒めた。「立腰」も導入すると学級経営が軌道に乗るようになった。和歌山市教育委員会に勤務し、教育長や助役を務め、平成18年より25年まで、「実践人の家」理事長として森教学の普及に尽力。

11月15日 
※第3土曜日

【講師】武田 数宏（修養団 講師）
【テーマ】恩送り



昭和33年(1958)福島県生まれ。淑徳大学社会福祉学部卒業。昭和55年(1980)財団法人修養団に勤務。現在、公益財団法人修養団伊勢青少年研修センターにおいて、各講習会・研修会に従事。また、青年リーダー育成教育キャンプ指導にあたる。

11月16日 
※第3日曜日

【講師】山崎 政弘（修養団 講師）
【テーマ】生き方の見直し



昭和56年(1981)埼玉県生まれ。国際武道大学体育学部体育学科卒業。会社営業職等を経て、平成18年(2006)、財団法人修養団に勤務。現在、伊勢青少年研修センターにて「みがく講習会」「みがく特別講習会」をはじめ、各講習会や研修会の指導にあたるとともに、各地での講演会に出講している。

12月20日 
※第3土曜日

【講師】上 甲 晃（志ネットワーク代表、松下政経塾元塾頭）
【テーマ】心の力は無限



昭和16年大阪市生まれ。昭和41年松下電器産業(株)入社。昭和56年松下政経塾に出身。平成8年4月松下電器産業(株)を退職。同年5月(有)志ネットワーク社を設立。平成9年4月「青年塾」を創設。令和5年5月、25期生の出発式をもって青年塾第一線を終え、現在第二幕実践編をスタート。『志のみ持参』『松下幸之助の教訓』など著書多数。

2026年
1月10日 

【講師】木南 一志（(株)新宮運送 代表取締役）
【テーマ】自立すること



1959年兵庫県生まれ。(株)新宮運送代表取締役。『S-DEC運動』という、4000日間無事故無違反を推進する循環型の運動を実施。「事故が起きても仕方がない」という考えを壊し、社員の自発的な努力の必要性を促している。本物と呼ばれるような企業を目指して、柔軟なスタンスで事業を推し進めている。

2月14日 

【講師】横田 南嶺（臨済宗円覚寺派 管長）
【テーマ】禅の教えに学ぶ



1964年和歌山県生まれ。臨済宗円覚寺派管長。筑波大学卒。在学中に得度し、卒業と同時に京都建仁寺僧堂。1991年より円覚寺僧堂で修行、円覚寺足立大進老師の法嗣となる。1999年円覚寺僧堂師家に就任。2010年臨済宗円覚寺派管長に就任。2017年花園大学総長に就任。ラジオや講演会など出演多数。著書『祈りの延命十句観音経』『十牛図に学ぶ』など多数。

3月21日 
※第3土曜日

【講師】執行 草舟（実業家、著述家、歌人、生命論研究者）
【テーマ】人間にとって自由とは何か



昭和25年東京都生まれ。立教大学卒。著述家、実業家。生命の燃焼を軸とした生き方を実践・提唱している生命論研究者。また、独自の美術事業を展開しており、執行草舟コレクション主宰、戸嶋靖昌記念館館長を務める。著書『生くる』『友よ』『人生のロゴス』『日本の美学』『超葉隠論』他多数。

4月11日 

【講師】白駒 妃登美（(株)ことほぎ代表）
【テーマ】命を紡ぐということ～限りある命に宿る無限の情熱～



埼玉県生まれ。福岡市在住。幼い頃より歴史や伝記の本を読み、福沢諭吉に憧れ、慶應義塾大学に進学。卒業後、大手航空会社に入社し、国際線に乗務。その後、大病を患う。命と向き合い、歴史上の偉人の生き方を改めて丁寧に紐解くなかで、かつての日本人が生きていた「今を受け入れ、この瞬間に最善を尽くし、天命に運ばれていく」という天命追求型の生き方にシフトする。生き方を変えたことで奇跡的に病状が快復。2012年(株)ことほぎを設立し、日本の歴史は「志」のリレーであり、報恩感謝の歴史であることを伝える講演活動を本格的に開始する。著書『人生に悩んだら「日本史」に聞こうー幸せの種は歴史の中にある』他多数。

4月12日 

先人に学ぶ

5月9日 

【講師】青木 紀代美（「食といのちを守る会」代表）
【テーマ】食に添う 人に添う



山梨県生まれ。はじめての子どもが1700グラムの未熟児だったことで、安全安心な牛乳を求め、さらに、米、有精卵、野菜、味噌、醤油など、まっとうな食べものを探し、農の現場を訪ね、生産者と話し込む。他方、自分の手から出る不思議なパワーで、他人様の体に手を当てること数千人。"菩薩のような人"との評もある。「牛乳問題研究会連合会」代表。「食といのちを守る会」代表。「NPO法人子どものいのちを守る会(kdm-mamorukai2002.net)」副理事長。

6月13日 

【講師】柴田 久美子（一般社団法人日本看取り士会 会長）
【テーマ】看取りの関わりが教えてくれました事



島根県出雲市生まれ。日本マクドナルド(株)勤務を経て、スバゲティー店を自営。平成5年より福岡の特別養護老人ホームの勤務を振り出しに、平成14年に、病院のない600人の離島にて、看取りの家を設立。本人の望む自然死で抱きしめて看取る実践を重ねる。平成22年に活動の拠点を本土に移し、現在は岡山県岡山市で在宅支援活動中。令和2年4月、一般社団法人日本看取り士会設立。同代表取締役。セコム(株)と連携をした見守りサービス等、新たな派遣サービスをスタートさせた。

7月11日 

【講師】富安 徳久（株式会社ティア代表取締役社長）
【テーマ】命の授業 ～人生は与えた分だけ与えられる～



1960年愛知県生まれ。1979年、大学の入学式直前、18歳の春、知人から紹介されたアルバイトをきっかけに葬儀業界に入る。1997年、株式会社ティアを設立、代表取締役社長に就任。2014年東証1部上場。現在、直営店・フランチャイズを含めてティアグループの会館数は、212店(2025年5月現在)。小中高校の生徒を対象に命の尊さ、感謝の大切さを伝える「命の授業」と題した講演を初め、積極的に講演活動を行う。著書『愛ある経営』『ぼくが葬儀屋さんになった理由(わけ)』他多数。

8月8日 

卒塾式 / 塾生表彰・記念品贈呈・門出の宴

開講日・会場・その他行事

◆開講日

毎月 第2土曜日

※2025年11月、12月、2026年3月は第3土曜日

13:00～17:00（終了予定）

◆研修会場

大阪大学中之島センター

〒530-0005

大阪府大阪市北区中之島4丁目3-53

TEL:06-6444-2100

◆宿泊研修

三重県 伊勢 （11/15～11/16）

愛媛県 奥道後 （2026/4/11～4/12）

◆塾生講話／読書会

※やむを得ない事情により、会場・日程・講師及び内容が変更になる場合があります。

年間受講費

78,000円

第13期からの継続

68,000円

※入塾申込書受付後、事務局より受講費のお支払いについてご案内いたします。

その他費用

◆宿泊研修

<11月、2026年4月> 1泊2日（実費）

◆懇親会開催時（実費）

人間学塾・中之島 事務局

〒567-0861 茨木市東奈良2-7-10

「人間学塾・中之島」 古田修平 内

TEL・FAX: 072 - 635 - 3590

mail: shfuruta5228@gmail.com

携帯：070 - 6500 - 4608

【振込先】

三井住友銀行(0009) / 河内長野支店(164)

普通口座：1 5 6 0 0 9 5

口座名義：ニンゲンガクジュクナカノシマ